

### 「松本に田舎暮らしを求めて移住」

松本に最高の田舎暮らしを求め移住して4年が過ぎました。アルプスを眺めながらの畑仕事は贅沢な毎日です。

私の農園は、無農薬、無化学肥料栽培で、ブルーベリー25品種700



無農薬でブルーベリー栽培

本、水稲50アール、野菜40アールを栽培しています。

将来的には観光つみ取り園や農園レストランをオープンするのが私の夢です。

家族の協力と、近くにセロリ農家の親戚がいるので、農業や、地

元のことなどを教わりながら頑張っています。

現在は経済的に厳しく、仕事のにもハードですが、こんな時代だからこそ、笑って畑を耕すような百姓になりたいです。

自分の農園を魅力的な空間に作りあげたい、そのプロセスを楽しみたい、いつかそこで「百姓って面白そうだな」と感じる若者を期待したい。

そんな夢や希望を失わない、とても前向きな「百姓」です。

自分の力だけではどうにもならない農業という仕事だからこそ、自然への畏敬、地域の人々との共生、美味安全な食べ物と手作りという豊かな暮らしの実践、「感謝」を忘れずに、私は日々頑張っています。

松本市中山

菅谷 信



## がんばっています

### 「松本太郎果樹生産組合」設立 荒廃農地に果樹を新植

今井で果樹経営をしている、横山竜大さんと桃井清実さんと私とで「松本太郎果樹生産組合」を昨年立ち上げました。

事の発端は、経済性の高い優良園が園主の高齢で作れなくなり「もったいないなあ」という欲からでした。しかし、一人で受けるには荷が重すぎたため、三人なら何とかするだろうと決意し立ち上げました。一園を受けたところ、農協から「ここも、あそこも」と依頼が来て、初年度はハウスブドウ10アール、加工ブドウ20アールを作りました。

将来的ビジョンは正直言ってみると確信は持っていませんが、今、はっきり言えることは、今井地区の荒廃農地削減、新規農業従事者への支援活動、仲間作りです。

今井には約50haの荒廃農地があり、後継者不足による従事者高齢化も重なり益々増加する傾向です。50ha全てを耕すのは到底無理な

ことですが、この春、約2haの荒廃農地を整地し、一部は加工プルーンを新植しました。他は来年以降ですが、リンゴとブドウを改植する計画です。本年新たにリンゴ10アールと加工ブドウ40アールも作るようになりました。

我々「松本太郎果樹生産組合」がどのような事例を残せるかは分かりませんが、誰かがやらねば事態は解決しません、他の事も含め立ち上がった勇者にご理解とあたたかいご支援をお願いします。地域の活性化、地域おこしには、仲間作り、地域の理解、行政の協力が不可欠です。



果樹園にて（前列右端が梶原さん）

松本市今井

梶原 祐一